

令和元年12月
さいたま市の財政



つなが電
又
さいたま市PRキャラクター

はじめに

市が提供するさまざまな行政サービスは、市民の皆様に納めていただいた税金や国・県からの支出金などによって賄われています。市では、それらがどのように使われているか、また、執行の状況はどうなっているかをお知らせするため、「さいたま市の財政」を毎年2回（6月、12月）公表しています。

今回は、平成30年度の決算の概要と令和元年度上半期の財政状況をお知らせします。

もくじ

- 1 平成30年度決算の概要・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 1
- 2 令和元年度歳入歳出予算の執行状況
 - ・一般会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 3
 - ・特別会計・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 5
- 3 令和元年度予算の使い方と市税負担・・・・・・・・・・ 7
- 4 財産、地方債及び一時借入金の現在高・・・・・・・・ 8
- 5 公営事業の状況・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 9

1 平成30年度決算の概要

決算の特徴

- ◆平成30年度は、「さいたま市総合振興計画後期基本計画後期実施計画」、「しあわせ倍増プラン2017」、「さいたま市成長加速化戦略」を推進し、市民一人ひとりがしあわせを実感でき、誰もが住んでいることを誇りに思える都市の実現を目指しました。
- ◆本市の将来を見据え、「運命の10年」として積極的な投資を行ったほか、交通の結節点である本市の強みを生かすため、東日本の各都市と連携を強化し、真の東日本の中枢都市としての地位を確立するための取組を進めました。
- ◆市民の健幸を推進するために高齢者が健康で安心して生活できる環境を整えるとともに、子どもたちが明るい未来を築くための少子高齢化に対応しました。
- ◆一般会計の決算規模は、過去最大となりました。

決算の総額

一般会計

教育、福祉、医療や道路・公園の整備など市の基本的なサービスを行う会計で、主に市税で賄われています。一般会計は1つしかありません。

教育

福祉

土木

など

歳入 5,421億円

歳出 5,356億円

特別会計

国民健康保険や介護保険のように、特定の収入をもって特定の支出に充てるため、一般会計と区別する必要がある事業の会計。さいたま市には14の会計があります。

国民健康保険

介護保険

都市開発

など

歳入 3,054億円

歳出 3,040億円

企業会計

民間企業と同じように、基本的には事業収益で賄われている会計。さいたま市には、水道事業、下水道事業、病院事業の3つの会計があります。

水道事業

下水道事業

病院事業

収入 971億円

支出 1,155億円

全会計合計

歳入（収入） 9,446億円

歳出（支出） 9,551億円

主な事業

01

環境
アメニティ

次世代自動車・スマートエネルギー特区推進事業【決算 1億3,689万円】

総合特区制度を活用し、「暮らしやすく、活力のある都市として、継続的に成長する環境未来都市」の実現に向け、「徹底的な低炭素化」「エネルギーセキュリティの確保」「誰もが自由に移動できる手段の確保」に取り組みました。

02

健康
福祉

市立病院施設整備事業【決算 4億873万円】

市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施しました。

03

教育・文化
スポーツ

(仮称) 市民会館おおみや整備事業【決算 40億6,588万円】

大宮駅東口大門町2丁目中地区第一種市街地再開発事業に伴い、市民会館おおみやの機能を移転し、文化会館機能・コミュニティ機能等を備えた新たな施設を整備しています。

04

都市基盤
交通

大宮区役所新庁舎整備事業【決算 75億2,846万円】

民間活力を導入し、設計、施工、維持管理及び運営を一括して行うPFIーBTO方式による新庁舎整備を、令和元年5月供用開始に向けて着実に推進しました。

05

産業
経済

東日本連携センター整備事業【決算 2億3,728万円】

東日本の交流拠点都市実現のためのプラットフォーム「まるまるひがしにほん(東日本連携センター)」を整備しました。

06

安全
生活基盤

(仮称) 北袋1丁目防災公園整備事業【決算 8億6,495万円】

市民の憩い、レクリエーションの場となる身近な公園を整備するとともに、さいたま新都心の広域防災・医療拠点を補完するオープンスペースを確保しました。

07

交流
コミュニティ

自治会運営補助金交付事業【決算 2億8,179万円】

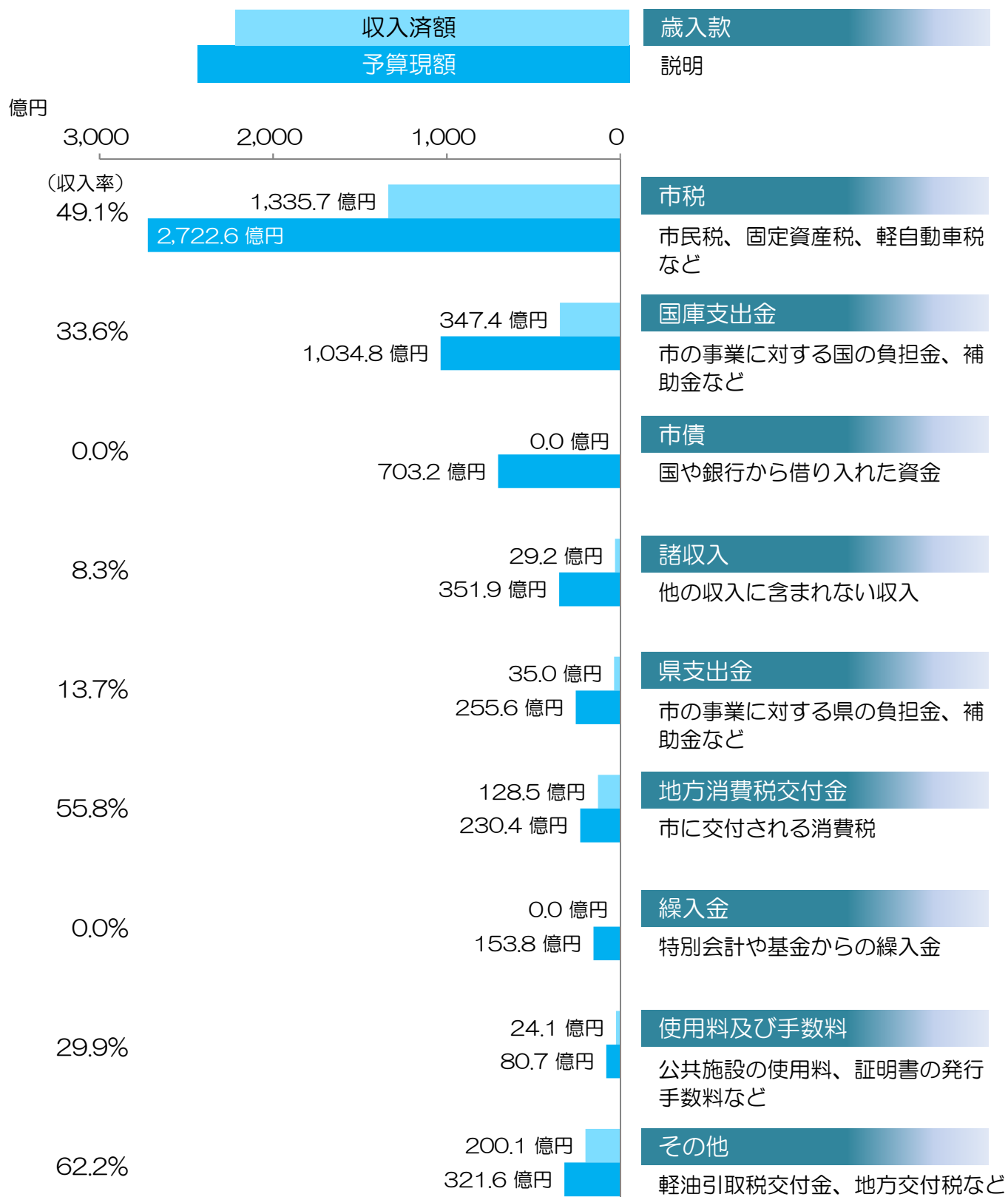
住み良い豊かな地域社会の形成に資することを目的として、自治会及び自治会連合会の運営に要する経費の一部を補助しました。

2 令和元年度歳入歳出予算の執行状況

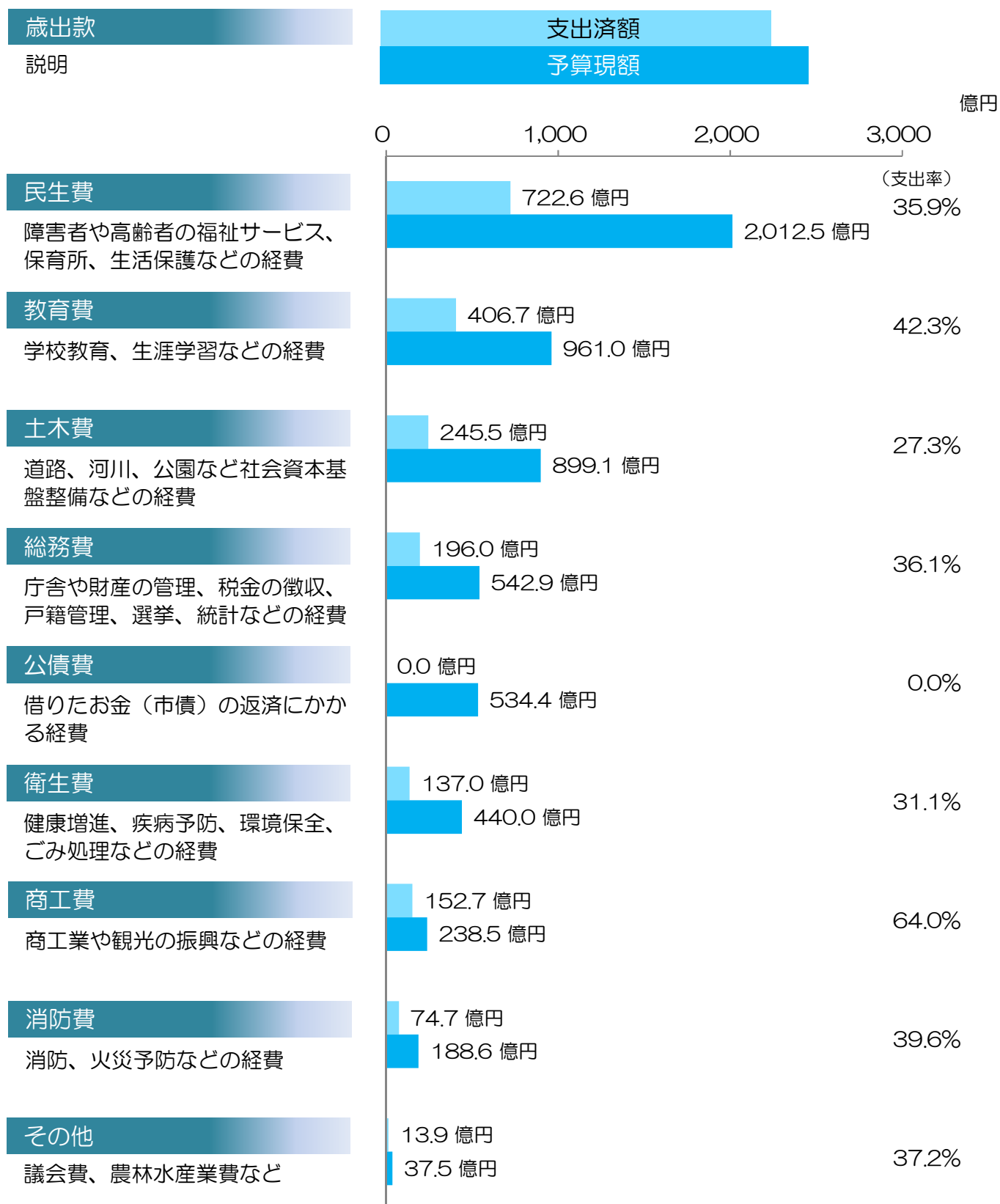
一般会計

※予算現額は、当初予算額に補正予算額と前年度繰越額を加えた令和元年9月末の予算額を表します。
補正予算額には、9月末時点で成立していないものは含まれていません。

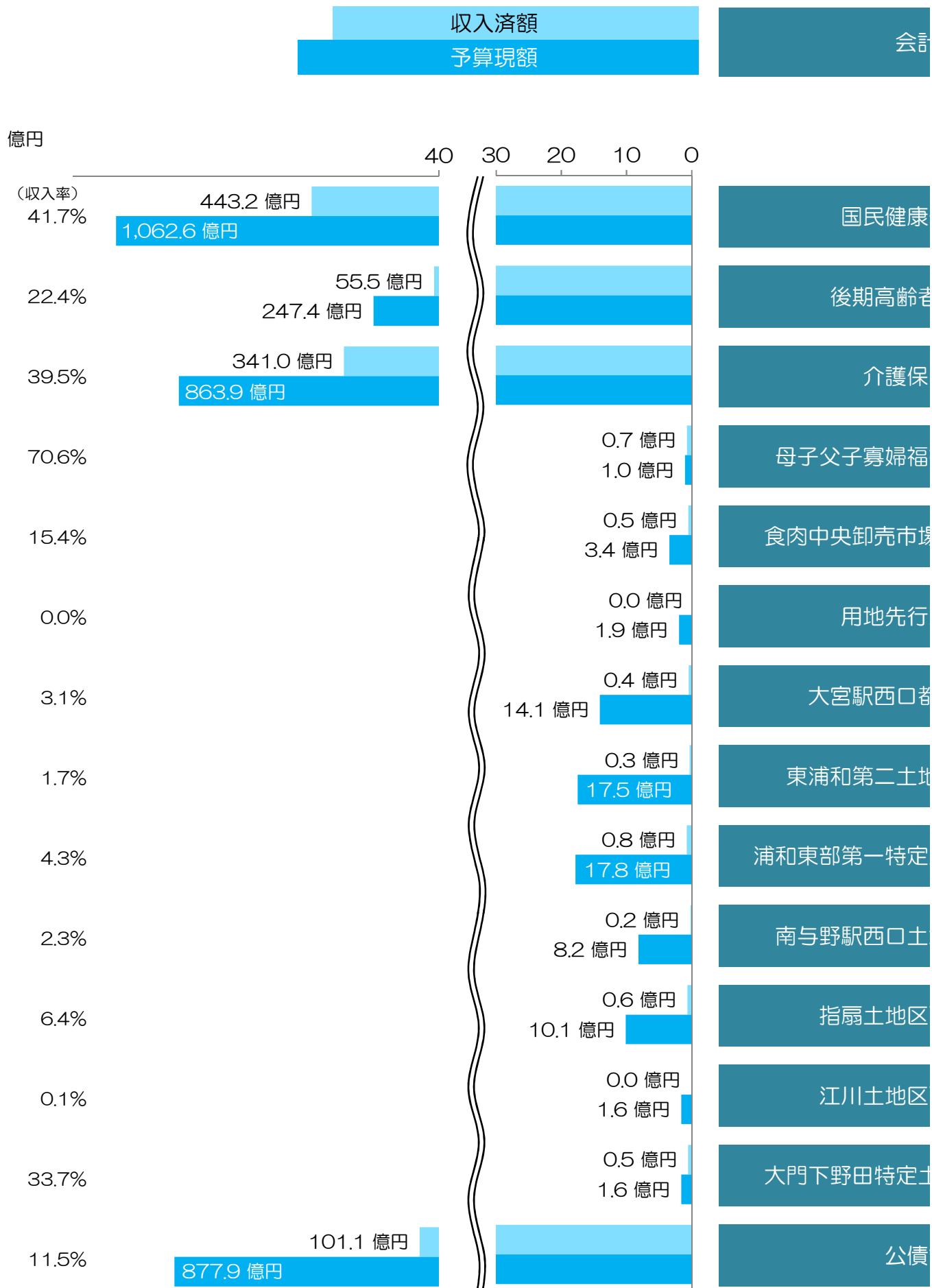
$$\text{歳入} = \frac{\text{収入済額 } 2100\text{億}614\text{万円}}{\text{予算現額 } 5854\text{億}5610\text{万円}} = \text{収入率 } 35.9\%$$

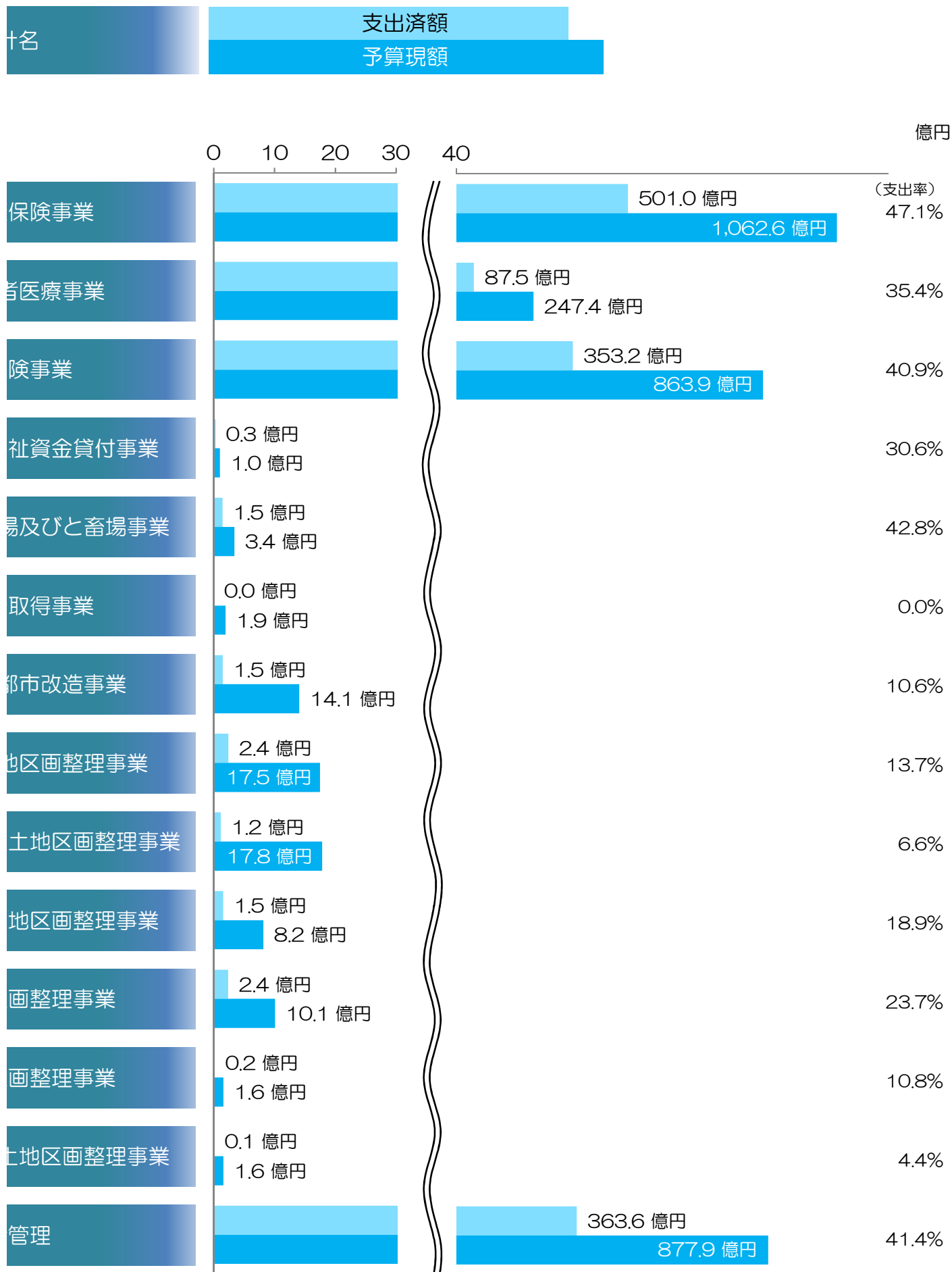


$$\text{歳出} = \frac{\text{支出済額 } 1949\text{億}1367\text{万円}}{\text{予算現額 } 5854\text{億}5610\text{万円}} = \text{支出率 } 33.3\%$$



特別会計





3 令和元年度予算の使い方と市税負担

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

市民一人当たりの予算の使われ方

1

民生費



153,364円

歳出（一般会計）を、
市民一人当たりに換算すると、

446,142 円

※市民一人当たりの歳出の額を、目的別で金額の多い順に並べています。
※令和元年10月1日現在の人口（1,312,265人）を基に算出（以下同様）

2

教育費



73,234円

3

土木費



68,513円

4

総務費



41,374円

5

公債費



40,723円

6

衛生費



33,533円

7

商工費



18,177円

8

消防費



14,370円

その他

議会費
農林水産業費
労働費
予備費
災害復旧費

2,854円

市税負担の状況

市税を、市民一人当たりに換算すると、

207,473 円

市民税



117,379円

固定資産税



65,850円

都市計画税

14,204円

市たばこ税

5,436円

事業所税

3,546円

軽自動車税

1,057円




その他

3円

4 財産、地方債及び一時借入金の現在高

※区分ごとに四捨五入しているため、各数値の合計と総額は一致しない場合があります。

財産の現在高

土地	建物	基金
		
3,136万㎡	265万㎡	731億円

その他の財産

区分	9月末現在高
立木	7,274㎡
動産	なし
物権	27万㎡
無体財産権	14件
有価証券	97億円
出資による権利	17億円
不動産の信託の受益権	なし
物品	4,206点
債権	33億円

※物品については、取得価格が1点100万円以上の備品の年度末現在高のみ掲載対象としています。

※基金の現在高（内訳）

- ・財政調整基金：年度間の財源不均衡を調整するために設置される基金で、決算剰余金等を積立て、必要に応じて取崩しを実施。 228億円
- ・減債基金：地方債の償還を計画的に行うために設置される基金で、計画に応じて積立て・取崩しを実施。 218億円
- ・その他特定の目的のために設置される基金：公共施設の老朽化対策など、事業の目的に応じて積立て・取崩しを実施。 286億円

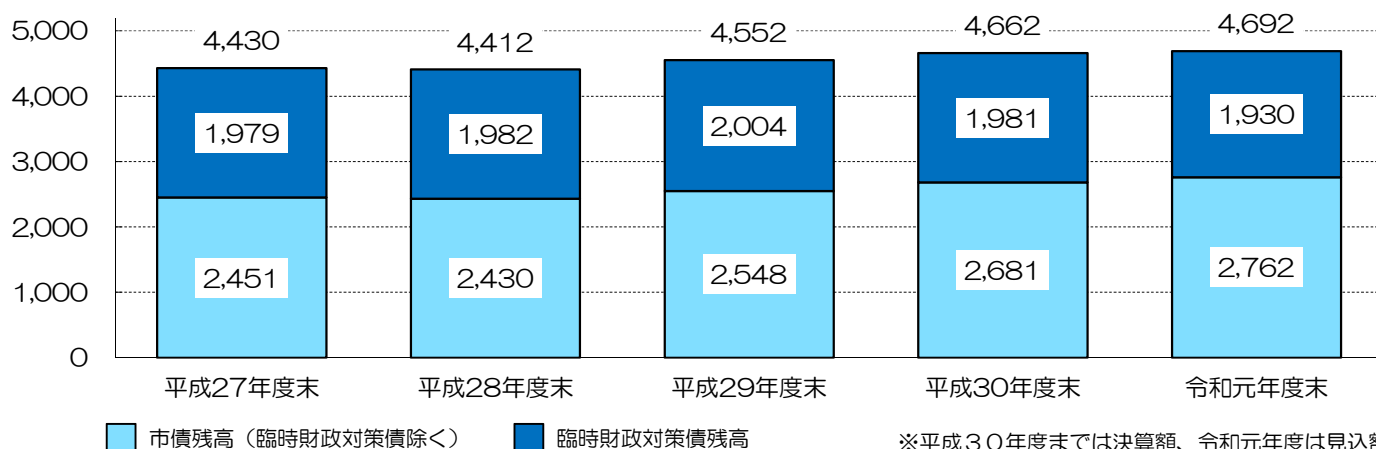
地方債の現在高

（単位：億円）

会計	平成27年度末	平成28年度末	平成29年度末	平成30年度末	令和元年度末 （見込み）
一般会計	4,430	4,412	4,552	4,662	4,692
特別会計	160	139	130	120	106
企業会計					
水道事業	570	536	514	480	446
病院事業	16	29	47	83	229
下水道事業	1,796	1,800	1,808	1,812	1,827
合計	6,973	6,917	7,051	7,157	7,299

（参考）地方債の現在高の推移（一般会計）

（単位：億円）



※平成30年度までは決算額、令和元年度は見込額。

一時借入金の現在高

平成30年度下半期に引き続き、令和元年度上半期における借入れはなく、令和元年9月末現在の残高はありません（一時借入金は金融機関からの借入れを指し、基金や会計間の繰替運用によるものは含みません。）。

5 公営事業の状況

水道事業

水道事業では、昭和12年（1937年）の給水開始以来、6期の拡張事業を重ね、ほぼ100%の普及率となっていますが、普及率が著しく向上した高度経済成長期に建設した多くの施設の老朽化が進み、大規模更新や耐震化対策等の強化が不可欠となっています。また、多様化する市民ニーズに対応したサービスの向上も必要となっており、これらに係る財源の確保が課題となっています。

水道局では、このような時代や環境の変化に対応するため、平成26年12月に改訂した、さいたま市水道事業長期構想に基づき効率的、効果的な事業運営に努めていきます。

平成30年度決算の概要

決算額 43,935,449千円

(主な事業)	(単位：千円)
水道施設整備事業	9,642,657
水の安定供給を図るため施設整備を推進しました。	

病院事業

本市が運営する唯一の公立病院であるさいたま市立病院は、地域における基幹的な公的医療機関として、地域医療の確保のため重要な役割を果たしていますが、全国的に公立病院を取り巻く経営環境や医療提供体制の維持が極めて厳しい状況となっていることから、中期経営計画に基づいた、医療機能の充実と健全経営の確立を図る必要があります。

また、施設及び設備が老朽化しており、安定した医療提供体制の維持と、医療機能を強化するために、施設の更新を行い、地域がん診療連携拠点病院として質の高い医療の提供や、高度医療機器の整備、緩和医療を含めた診療体制の充実などを図っていく必要があります。

平成30年度決算の概要

決算額 22,158,796千円

(主な事業)	(単位：千円)
市立病院施設整備事業	4,625,118
市民に安心で、安定した医療の提供と、医療機能の強化を図るため、救命救急センター設置を含めた施設整備を実施しました。	
市立病院高度医療機器整備事業	212,295
質の高い医療の提供及び病院機能拡充のため、手術支援ロボット等の医療機器を整備しました。	

下水道事業

公衆衛生の向上、生活環境の改善を実現し、水循環を形成するとともに、大雨等による自然災害に対して、誰もが安心・安全に暮らせるまちづくりに資するため、主要事業である下水道汚水事業、下水道浸水対策事業、下水道施設老朽化対策事業を推進していきます。

また、平成29年3月に策定した「さいたま市下水道事業中期経営計画（平成29年度から平成32年度まで）」に基づき、現行使用料体系を維持し、下水道サービスを持続的に提供していくために経営基盤の強化に努めていきます。

平成30年度決算の概要

決算額 49,400,983千円

(主な事業)	(単位：千円)
下水道汚水事業	3,491,804
さいたま市生活排水処理基本計画で定めた合併処理浄化槽との役割分担により、事業効率が高い区域の汚水整備を推進しました。	
下水道浸水対策事業	3,751,341
浸水被害の軽減を目的とした雨水貯留施設及び雨水管の整備を推進しました。	
下水道施設老朽化対策事業	4,049,022
緊急輸送道路下の重要な幹線などについて、耐震化を進めるとともに、老朽化した下水道管について、予防保全の観点から計画的な改築を実施しました。 また、ポンプ場と下水処理センターの耐震化及び改築を実施しました。	

■ 計理の概況 (令和元年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	223,397,267
(1) 固定資産	203,648,643
(2) 流動資産	19,748,624
負債	83,509,811
(1) 固定負債	46,354,319
(2) 流動負債	6,684,877
(3) 繰延収益	30,470,615
資本	133,116,626
(1) 資本金	118,633,022
(2) 剰余金	14,483,604
収益	14,550,908
うち営業収益	14,481,704
費用	7,491,050
うち営業費用	6,987,562
整理勘定(中間勘定)	289,028

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	15,702,592	46.9%	7,954,816	27.5%
資本的収支	32,712	1.8%	5,098,076	24.3%

■ 事業の概況 (令和元年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
給水件数	602,803	612,340	101.6%
給水量 (m ³)	66,836,810	65,995,320	98.7%
一日平均給水量 (m ³)	365,228	360,630	98.7%

■ 計理の概況 (令和元年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	22,478,988
(1) 固定資産	16,211,782
(2) 流動資産	6,267,206
負債	12,996,161
(1) 固定負債	10,791,137
(2) 流動負債	1,042,199
(3) 繰延収益	1,162,825
資本	9,497,065
(1) 資本金	8,609,240
(2) 剰余金	887,825
収益	7,611,069
うち医業収益	7,550,540
費用	7,426,436
うち医業費用	7,346,642
整理勘定(中間勘定)	198,871

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	7,621,237	41.6%	7,541,333	32.4%
資本的収支	0	0.0%	498,373	1.6%

■ 事業の概況 (令和元年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度	
病床数	567	567	100.0%	
入院患者数	一般病床	83,958	82,344	98.1%
	結核病床	1,829	602	32.9%
一日平均入院患者数	一般病床	458.8	450.0	98.1%
	結核病床	10.0	3.3	33.0%
外来患者数	113,881	114,496	100.5%	
一日平均外来患者数	918.4	930.9	101.4%	

■ 計理の概況 (令和元年度上半期) (単位：千円)

科目	金額
資産	416,801,301
(1) 固定資産	409,944,657
(2) 流動資産	6,856,644
負債	279,457,362
(1) 固定負債	169,693,248
(2) 流動負債	9,008,401
(3) 繰延収益	100,755,713
資本	133,892,251
(1) 資本金	130,905,964
(2) 剰余金	2,986,287
収益	12,609,175
うち営業収益	12,597,884
費用	3,742,006
うち営業費用	2,337,279
整理勘定(中間勘定)	5,415,483

(単位：千円)

	収入		支出	
	収入額	収入率	執行額	執行率
収益的収支	13,285,617	50.9%	3,910,002	15.8%
資本的収支	627,410	3.0%	12,359,490	36.3%

■ 事業の概況 (令和元年度上半期)

項目	前年同期	当期	対前年度
汚水処理戸数	509,359	523,073	102.7%
汚水処理水量 (m ³)	69,210,940	72,078,372	104.1%
一日平均汚水処理水量 (m ³)	378,202	393,871	104.1%



この冊子は150部作成し、1部当たりの印刷経費は63円（概算）です。

令和元年12月
編集発行 / さいたま市財政局財政部財政課
TEL 048-829-1154